

本校のキャリア教育～下吉田放送室

本校の郷土学習である「ふるさとふれあい学習」の一つに、5年生が「総合的な学習の時間」で取り組む「ご近所学～地域の職場について調べよう」があります。下吉田地区のお店で働く方からの職業講話から、働くことの意義や働く上での苦労、工夫、こだわりなどを知り、下吉田地区のお店の魅力をつかむとともに、将来の職業選択の力を育むことを目的としています。地域学習であるとともに、本格的なキャリア教育でもあります。本年度より始める取り組みであったので、「かえる舎」と連携して学習計画を立てました。かえる舎からの提案で、授業を「下吉田放送室」と名付け、取材した内容を映像にして伝えるまでの流れとしました。

映像にする方法として、CATV 富士五湖の協力を得て、本物のテレビカメラを利用させていただくことになり、学習の導入の段階で、CATV 富士五湖の方から、番組制作に関わる仕事内容や仕事をする上で気を付けていること、カメラの原理などについて話をうかがい、実際にカメラ操作を体験しました。

今回、職業講話にお出でいただいたゲストは、富士牛乳の萱沼さん、卓示書店の渡辺さん、LONGTEMPS（ロンタン）の渡辺さんの3名です。お店の概要、仕事内容、提供している商品、こだわりや力を入れていること、仕事のやりがいや楽しさ、仕事をしている上で大事にしていること、下吉田に暮らしてよかったと思う出来事、小学生の時の夢などを、子供たちの質問に答える形でお話していただきました。ゲストの皆さんは、実物を用意していただいたり、事前にプレゼン資料を作成していただいたりしながら、子供たちに分かりやすく伝えようと力を注いでいただきました。子供たちは、働く上での熱意・情熱や下吉田で働くことの素晴らしさなどをしっかりと受け止めていました。

その後、お聞きした内容をグループでまとめ、映像づくりに取り組みました。まず、4コマの絵コンテを作成した上で台本を作成しました。そして、小道具を用意するなど発表の準備・練習を経て、撮影本番に臨みました。3つのグループとも、表現する方法を工夫して、取材した内容をしっかりと伝えることができました。

下吉田放送室の学習により、5年生は下吉田地区の魅力を間違いなく再発見したと思います。そして、ここで暮らす幸せを感じてくれたと思います。また、「働くこと」を身近に感じていたようです。考えていた以上の成果を得ることができたのも、かえる舎さんとのコラボがあったからだ実感しています。今後も様々な活動でタッグを組んでいきたいと思います。

